

守山まるごと活性化 議事要旨

作成日:平成28年5月25日

作成者:足立

会議名: まるごと活性化 まつりプロジェクト第10回会議

日時:平成 28年 5月 25日(水)

場所:吉身会館小会議室

出席者:まつりプロジェクト委員

出席者(行政):吉身会館 高岡館長、足立

使用資料:

議題

28年度の取り組み内容について

会議要旨

内容

(意見交換)

【1】参議院議員選挙実施によるたからものマップの一時取り外しについて
大会議室の後方に設置する案、撤去する案が出され、大会議室に設置、不可能であれば撤去することで合意。

【2】28年度学区民のつどいプログラム内容の変更について
事務局 6月22日の企画委員会で28年度学区民のつどいのベースを決め、7月に実施する市民活動部会で内容を決定していく、というように考えている。そういったスケジュールを勘案し、7月の市民活動部会でまつりプロジェクトの意見を反映させられたらと考えている。
参考として、昨年度の反省点として挙げられていたのが「風船割ってお宝GET」が好評だったので28年度は時間を延ばしてはどうか、学区内小、中学校の学生に運営ボランティアとして参加を募ってはどうか、昨年度は台風の影響を考慮し模擬店の商品の量を例年より減らした影響もあり、商品が早い段階で売り切れになった、という点が挙げられた。

委員 園児発表は親子でつどいに参加してもらえるきっかけになるので必要だと思う。

委員 江洲音頭は昨年度も盛り上がったので今年度も実施しよう。昔は守山踊り(音頭)があった。

委員 豊年踊りをつどいに取り入れてはどうか。人員を揃えられるか、という点は懸念されるが。

委員 5月からそこまで時間が経過しているわけではないので、2~3回練習したら出来ると思う。あとは人員が揃うかどうか。

委員 学区民のつどいで豊年踊りを行えば、まつりプロジェクトの目玉といえる豊年踊りを多くの人に見てもらえる。だから規模を小さくしてでも実施したい。

(裏面に続く)

決定事項

- ・ 28年度学区民のつどいで豊年踊りをプログラムに入れる。それに向けて部会、まちづくり推進会議に要望を伝える。
- ・ リーフレットは①用紙サイズはA2、②記載内容は「おたからマップ」、もう片面に「吉身学区のまつり、行事の時系列表」

次回以降について

- ・ 豊年踊りの運営関係者に実施可否を確認。(委員に連絡がくる。)
- ・ まちづくり推進会議、市民活動部会へ豊年踊り実施にかかる要望を伝える。
- ・ リーフレットのフォーマット案を作成する。

会議要旨

内容

委員 放送で宣伝しよう。吉身学区伝統のすばらしい祭りである事を宣伝し、観客を増やす事も重要。

委員 つどいの実行委員会へ豊年踊りの発表と、園児発表の次にプログラムに組み込んでもらうよう提案しよう。

委員 豊年踊りの所要時間は20分くらいだから、他のプログラムとの兼ね合いを考えながら、組み込めたらと思う。

【3】リーフレット版おたからマップに関する事

委員 全戸配付すると6,500部印刷することになる。費用をどのように捻出するか。

委員 マップに入れたい情報量を考えると、用紙サイズはA2となると思う。

委員 マップに記すのは①おたからマップ、②吉身学区のまつり、行事の時系列表。デザインはまつりプロジェクトと事務局が行っていく。

委員 市のホームページにも載せる必要がある。各学区のページに載せて良いと思う。

事務局 先日開催されたホタルプロジェクト会議でも意見が出ていたが、まるごと活性化について、市民にまだまだ周知が出来ていない。学区まちづくり新聞にまるごと活性化に関する記事を掲載したりはしているが、市民にはまだ浸透していないように思う。

委員 学区民のつどいにしろ、まるごと活性化にしろ、一度参加してもらう事が重要。一度参加したら毎年参加してくれるようになった人も多くいる。

委員 公共機関(小学校、幼稚園等)には業者が印刷したリーフレットを置き、全戸配付分は各自治会が印刷するのはどうか。そうすれば費用を低く抑える事が出来ると思う。

委員 カラー印刷にしないと読まない。自治会の広報誌をカラーに変更したら多くの人が読むようになった。

委員 用紙サイズはA2にして、記載内容は片面に「おたからマップ」、もう片面に「吉身学区のまつり、行事の時系列表」とする。その上で、各マップをどのように示すかフォーマットを決める必要があるので、次回までに案を取り集め決定していこう。